

価値観を変えるべき世代 アナタは準備してますか？



49歳2児の父親、埼玉に住んでいる落語家の三遊亭鬼丸です。さて、「シニアライフ案内士」の皆さんへ、ナビゲーターの私がお届けするメールマガジン第7号です。

9月の第2回ライフプランセミナーを受講されましたか。元衆議院議員で、「薄口」政治評論家の杉村太蔵さんが講師でした。「人生100年時代に、年金支給年齢は80歳になるかもしれない」という指摘が興味深く、タイゾー流株式投資の話が面白かった。特に「私たちの世代は、価値観や考え方を変える必要がある」という意見に共感しました。

ある落語会で、経済評論家の佐藤治彦さんと出会って意気投合しました。佐藤さんの著書『しあわせとお金の距離について』(晶文社)は、お勧めの一冊です。私と同世代の、特にサラリーマンの皆さんに読んでいただきたい本です。

幸せな人生を送るためのヒントを、お金を軸につづったもので、楽しい老後は守るだけでは手に入らない、と説きます。ある読書サイトに「三遊亭鬼丸氏らから絶賛をいただきました」と、自身が投稿されて

います。まったくその通り。佐藤さんの考え方は抜群に面白いです。

勉強していい高校、大学へ進学すれば、いい会社に就職できる。給料は年齢とともに上がり、結婚して家族をつくり、家を建てて一人前。定年後は好きなことをしながら楽しく余生を送る。高度経済成長期、所得倍増の時代を生きてきた親から散々聞かされ、私たちの世代は育ちました。

ところが、現実はまったく違っていました。杉村さんがおっしゃるように、私たちは「価値観や考え方を変える必要がある」世代だと思います。

例えばマイホーム。私は借家住まいを選択しました。住宅ローンは長いと35年。子どもが巣立って物置きになった子ども部屋のために支払いを続けることに疑問を持ったからです。将来は、小ぶりな戸建てか、マンションへ引っ越して夫婦で暮らそうと考えています。家賃は下がるでしょうし、仮に同じ家賃を払えばもっと駅の近くに住めそうです。

ものは考えよう。さて、皆さんはどんな準備をしていますか。